

# 東京白楊だより

vol.36

H.25 8.24 (2013)

白楊ヶ丘同窓会東京支部

旧制函館中学校 函館中部高等学校

<http://www.h6.dion.ne.jp/~kanchu/>



写真提供：67期 吉岡直道氏（函館在住・吉岡写真館）

## 支部長ご挨拶



白楊ヶ丘同窓会東京支部長

安田 康次

（67期 昭和40年卒）

白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

昨年は大震災からの復興、周辺諸国との関係悪化、年末の総選挙による政権交代等、大きな変化がありました。今年に入り円安、株高と景気回復の兆しも見えてきた感がありますが如何でしょうか。平成28年度には新幹線も函館まで開業する事が決まり、函館・東京間が列車で3時間少しで行き来できるという事で、故郷が近くなったという感があり、嬉しい限りです。

私達東京支部も皆様方のご支援とご協力のおかげをもちまして、親睦大会を開催できる運びとなりました。

今年度は83期（S56年卒）が幹事期となり、10月12日・土曜日に「グランドアーク半蔵門」で昨年とは場所も変わり開催となります。

東京支部では幹事期に日時・場所を期のやりやすい方法に任せており、毎回開催場所が変わる事をお許し下さい。多くの方のご出席を心よりお待ちしております。

25年度も新たな活動が始まりましたが、今年も大先輩から最近の卒業生まで幅広く集い、支部の特色を一層生かし、活力にあふれた魅力ある同窓会を目指し、インターネットなどを活用していきたいと思っております。

大きな課題の一つに、年会費の減少がありますが、この問題は本部を含めてどの支部でも悩んでいる事と思います。各支部間との交流を大切にし、良い知恵を出し合っていきたいと思えます。同窓会は皆様の会費で運営されている事を、もっともっとアピールして、しっかりした基盤を作り、発展させていきたいと思っております。

早いもので、私の支部長も満6年となり、10月に役員改選の時期を迎えました。多くの課題を抱えている中、4月の評議員会において、続投せよとのお話があり、微力ながらも1期続けさせていただく事になりました。他の役員も再任され、もうひと頑張りしたいと思っております。

最後になりますが、同窓会は若い方の参加者が少しでも多くなる事が同窓会支部を盛り上げる最大の効果と思ひ、又ご年配の方々にも楽しめる同窓会を目指し、これからも伝統ある白楊ヶ丘同窓会を盛り上げていける様、役員一同、なお一層発展に努力してまいりますので、皆様のご指導、ご支援を宜しくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



# 「函館中部高校の英語教育」

北海道函館中部高等学校 校長 千原 治



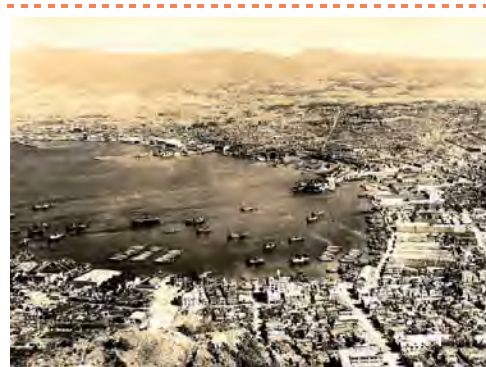
白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様には、本校教育に対してご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。私はこの4月に本校第37代校長として、道北の名寄高校から赴任いたしました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

本校に着任以来、生徒の活躍や教員の奮闘ぶり等々に感心するばかりです。その一つ一つを皆様にご紹介したいのですが、紙面の都合もありますので今回は「英語教育」に絞って書きたいと存じます。

## ● 函館と英語

本校の現在の英語教育の状況を述べる前に、函館という地域と英語との関わりについて少しだけ歴史を振り返ってみたいと思います。

ペリー提督率いる黒船が我が国に來航したのは嘉永6年（1853）でした。翌年の2回目の来日の折には箱館に寄港しています。彼らは箱館で買物をしたり動植物を収集したりしていますので、当時の箱館の人々は間違いなく英語を耳にしたでしょう。幕府は和親条約に基いて安政2年（1855）に箱館を開港し、翌年には「諸術調所」を設けました。これは研究教育施設であり、蘭学者武



箱館は異文化が交流する国際都市であったのです。外国人との交流や外国語の習得を大切にする気風が函館に生じたのは、歴史の必然と言っていいかもしれません。

## ● 函館中部高校の英語教育

本校は平成15年に文部科学省の「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール（SELHI）」の指定を受けて以来、SELHIの6年間を始めて以来、毎年文部科学省或いは道教委による英語の研究指定校となり、授業や指導方法等の改善に努めてきました。今年度は文部科学省の「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」を行っています。

高等学校の新しい学習指導要領は本年度から本格実施となりました。これまでと大きく変わったことの一つに「オールイングリッシュによる英語の授業」ということが話題になったことはご存知のことと思います。文部科学省はグローバル社会の中での、英語によるコミュニケーション能力の育成に、本気で取り組んでいます。小学校では数年前から「外国語活動」が取り入れられています。また、内閣府に設置された教育再生実行会議の提言の中には、さらに一歩進んだ英語教育の構想が書かれています。グローバル化への対応が、単に英語力をつけることだけではないことは当然であると踏まえたうえで、それでも英語によるコミュニケーション能力は必要なのであるということだと、私は理解しています。

本校ではこれまでの経験を生かして、何の違和感もなく新しい学習指導要領に沿った授業を行っています。先日、研究指定事業に関わる研究協議会を近隣の高校・中学校の教員や、道教委の指導主事等を招いて開催し、2人の教員の公開授業を行いました。もちろん2つとも完璧なオールイングリッシュです。生徒は先生の英語での説明に耳を傾け、自らも英語で話すことを楽しんでいるかのようです。つまり、教室内の空気が英語なのです。この中にいた私（国語科教員）も、つつい英語で話したくなるような感じでした。指導主事も「これからの英語教育の在り方として、間違いなく道内最先端をいっています」と絶賛してくれました。担当した2人は、ともに昨年本校に赴任してきたばかりの教員です。これまでの本校の研究や実践の成果が、英語科教員全員のものとして共有できているからこそ、新しく来た教員も本校の英語の授業をスムーズに受け継いでいるのです。

海外留学に関しては、平成20年に国際大学連合と調印し、海外の4大学と提携を結んで海外留学することができま。今年度は4名の生徒が夏休みにイギリスの大学に行きます。函館市の相馬報恩会留学生奨学制度では、市内の高校生10名が約3ヶ月オーストラリアに留学することができま。高文連に国際交流部という部門

があります。ここでは、5月に英語プレゼンテーション大会、11月に英語弁論大会（弁論・ディベート）の全道大会を行います。本校チームは前者で全道5位に入る好成績を収めました。



以上、本校の英語教育の状況について、簡単に述べました。大切なことは、ただ漫然と英語学習に取り組ませるのではなく、「何のためにやっているのか」という目的と、「どうありたいか」という目標を明確にすることです。本校教員はこのことを十分に理解した上で、生徒に対して適切な指導を行っています。

結びになりましたが、白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様におかれましては、本校の教育活動に一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。





# 白楊ヶ丘同窓会 東京支部 第36回親睦大会報告



200余名の参加で、乾杯！

テーマは「函館再発見！」。今回は、第65期同窓生 渡辺憲司氏に「海を見よー函館…」と題してご講演いただき、また、函館市役所の方より、82期の平井尚子が昨今の函館情報などをお話するという企画を持ちました。懐かしいとはいえ、長くかの地を離れていると、つながりも希薄になってしまいがちです。そこであらためて函館について知る機会が持てたら、と思った次第です。1年以上前から準備を始めたものの、それまで集まりを持っていなかったため同期がなかなか集まらず、大苦戦。それでも前後の期、またさら



受付の様子

第36回の東京支部親睦大会は、平成24年9月30日（日）京王プラザホテル エミネンスホールにて、82期の担当で開催されました。

「函館再発見！」を  
テーマに82期が担当



講演会 “時に海を見よ”

皆様のおかげで、予想できることは準備できた、かな…と思ったのも束の間、なんと、台風シーズンであるとはいえ、かつてない規模のきわめて強い台風が直撃する（！）との情報を受け、はたして開催できるのか、お集まりいただけるのか、ということが、当日、その時間になるまで分からないという事態に、一同頭を抱えました。それでも「開催するしかない！」との決断でお待ち申していたところ、雨の降り始めた中、皆様続々とお越しくださり、午後4時半からの渡辺先生ご講演の際には予想

に上の方々のお力を借りながら準備を進め、何とか当日は同期15名体制（うち二次会より参加2名）で大会に臨めるところまでこぎつけました。

台風の中、43期から114期までの200名以上が集結！



を超えるご来場に椅子を追加、最終的には、同窓会各支部の役員の皆様始め、43期から114期までの卒業生200名以上の方々にご出席をいただきました。今回は各期の合同二次会も同ホテルの高層階で準備しており、こちらも当日の開催が危ぶまれましたが、懸念を一掃する90名近い大集合となりました。

親睦大会の始めには、安田康次東京支部長(67期)より、この天候の中、お集まりいただいた方々に感謝するとともに、白楊ヶ丘同窓会の結束を再確認いたしましたとの挨拶がありました。一つだけ残念だったのは、母校函館中部高校はちょうど修学旅行で、帰路の飛行機と大会の時間とが重なっており、校長先生にご臨席いただけなかったことです。お忙しいところ挨拶文を頂戴した小林雄司校長先生にあらためて御礼申し上げるとともに、大会スケジュールを変更できなかったことを心よりお詫び申し上げます。

### 「海を見よ―函館…」

渡辺憲司氏(立教新座中学校・高等学校校長)は、さる東日本大震災に際して卒業式中止せざるを得なかった同校の卒業生に「時に海を見よ」と題したメッセージを含む一文を贈り、「真理への船出」へのはなむけとされました。

「海を見つめ。大海に出よ。嵐にたけり狂つていても海に出よ。(略)鎮魂の黒き喪章を胸に、今は真っ白の帆を上げる時なのだ。愛される存在から愛する存在に変われ。愛に受け身はない」。

我々すでに母屋を出て久しい者たちにとつても、これらの言葉は人生の旅路を見つめ直すよい鑑となりました。渡辺先生には、こちらからテーマをご依頼したわけではありませんが、開港期の箱館と唐人お玉のことなどもお話しただきました。我々の知らない函館を再発見できたのではないかと思います。あらためて御礼申し上げます。

### 親睦大会



同窓会歌斉唱

ご講演に続いて、午後5時より82期の清水真と櫻井しのぶの司会で親睦大会が始まりました。前述の支部長挨拶の後、52期から上の

旧制函館中学校の同窓生にご登壇いただき、同窓会歌(旧制函館中学校校歌)を、出席の同窓生全員で斉唱しました。指揮は105期の小林秀輝氏、ピアノ伴奏は78期の島津路郎氏です。

続いて来賓16名の紹介があり、白楊ヶ丘同窓会会長 石井直樹様よりご挨拶をいただきました。また、函館中部高等学校校長小林雄司先生よりのメッセージを、実行委員長清水真が代読いたしました。部活も、進学面でも成果を上げてきており、「来年度の入学生が3年生になったとき、節目の120周年になります」「変わらぬご支援をよろしく願います」とのことでした。そして、82期の平井尚子(函館市役所国際・地域交流課課長)より函館紹介のスピーチがありました。パワーポイントを駆使し、具体的数値なども織り交ぜたときばきと歯切れのよいプレゼンテーションは、とても好評でした。



司会 & BGM

函館紹介のスピーチ



勢揃いした幹事の82期生



新人紹介

乾杯の音頭は、51期の三國比左男氏にとつていただき、その後、和やかな歓談となりました。平井のスピーチと歓談の間のBGMは豪華なピアノの生演奏。78期島津路郎氏と82期金子薫が洒落た名曲、函館賛歌を含む懐かしいナンバーを次々と演奏してくれました。終盤には、まずお土産の福引き。渡辺先生他よりご著書など多数をご恵贈いただきました。厚く御礼申し上げます。引き続きは新入会員の紹介。そして今回の幹事役を務めた82期13人が登壇し、実行委員長清水真の挨拶、続いて、来期の幹事となる83期12名の皆さんが登壇され、田口志保氏が抱負を述べられました。最後はもちろん



指揮にあわせて校歌斉唱



次回幹事役の83期のみなさん

校歌斉唱。指揮は105期的小林秀輝氏、ピアノ伴奏は78期の島津路郎氏です。112期の寺地諒君の三本締めで閉会となりました。末筆になりましたが、このたびワインやお土産のさきいか、観光ポスター、パンフレットなどご提供いただいた函館市役所を始め、ご指導いただいた先輩の皆様、お手伝いいただいた皆様、悪天候の中お出かけくださった皆様に、心よりの御礼を申し上げます。

(82期/永倉千夏子)



# 第36回 親睦大会報告



大先輩43期・45期と新会員114期



53期～57期



58期～59期



60期～61期



63期～64期



65期/同期の講演会講師・渡辺氏と



67期



68期



69期～72期



72期～74期



74期～76期



78期～81期



83期～92期



93期～108期



109期～114期



- 6 -



3時間に及ぶ懇親会では、間もなく卒業50年という長い歳月も忘



恩師の土井(南)時久先生をお迎えし、参加者は49名となりました。(先生を含め総勢49名は、奇しくも前回の東京開催時と同数でした。)

北は当然北海道札幌から、南は九州福岡からの参加者があり、同期会にいつも参加される方に加え、本当に久しぶりの方、さらに卒業以来初めてという方の参加もありました。

全員集合して、まず記念撮影・定期総会のあと懇親会へと進みました。

土井先生からは、「函中66期の皆さんへ『研究うらばなし・他』」とのプリントが配られ、恩師が今なお勉強し続けておられる前向きな姿を目の当たりにしたところでした。

また、青森の参加者から「函中66(函中のマーク入り)」の記念ラベルが貼られた、青森特産の長芋焼酎(自社製)が、全員に配られるというサプライズも加わりました。

れ、しばらくの間それぞれに、懐かしい人々と旧交を温め、懇親を深めました。

翌26日(日)は、希望者のみのオプションとして、(1)「東京スカイツリーと浅草散策」(2)「横浜散策」の2コースで、東京の幹事が案内を務める催しが用意されていました。

好天にも恵まれた中、「スカイツリー」8名、「横浜」9名が参加して、それぞれのコースの特徴を存分に味わい、思い出に残る散策の1日を終わりました。

今回の同期会では、今後の同期会の在り方についてアンケートを実施しました(参加者のみではなく、案内を発送した会員に対して実施)。

アンケートの中の「70歳(20



15年)で終了する」と「70歳を過ぎてても継続する」の2つの内容の集計結果は、「終了する」がやや多かったものの、総会時に意見交換の結果、「2014年の50周年記念(函館)」と「2015年の70歳祝古希」の2回は開催することとし、その後の開催については再度検討することになりました。

函中66期同期会は、来年卒業50周年を迎え、函館で開催される予定です。

## 第67期 志丸会

西堀元朗

2本用意してくれていました。1本は、皇太子殿下御愛飲の「百年の孤独」、もう1本が「あくがれ」です。

けふもまた こころの鉦(かね)をうち鳴らし うち鳴らしつつあくがれてゆく

この、若山牧水の歌から取られた名前を持つ焼酎は、K君の教え子が杜氏をしている宮崎県日向市の酒蔵で作られている、香り良く味わい深い焼酎でした。K君がこの牧水の歌をそらんじていて、旅への憧れの気持ちを詠んだ歌だ、と説明をしてくれました。

志丸会(昭和40年卒同期会)では、今まで遠くに居る友達を訪ねる旅行会を、海外も含めて10回ほど行っています。今回(平成24年11月)は、国内では一番遠い宮崎に居るK君を訪ねる旅です。東京、山口、函館、札幌と、全国から11人(うち、函館から女性3人)が集まり、車3台のドライブ旅行となりました。

## ● 1日目 宮崎集合

初日は、各地から宮崎の「青島グランドホテル」に夕方に集合して、すぐ宴会という予定です。久しぶりの再会の挨拶もそこそこに、すぐに乾杯。

今回の主賓K君が珍しいお酒を

## ● 2日目 高千穂へ

2日目は、まず青島名物「鬼の洗濯板」を散策したあと、「鶴(う)戸(ど)神宮」を訪ねました。本殿が海水の浸食で出来た大きな洞窟の中にある、珍しい造りで、この日は七五三を祝う家族がたくさん参拝に来ていました。

そのあと、「神話の里」で有名な「高千穂」を目指しました。平成24年は古事記編纂1300年の記念の年で、たくさんの観光客が集まっています。最初に高千穂峽を歩き、次に、天照大神が身を隠した天岩戸を御神体とする天岩戸神社を見学しました。

この日の夜は、高千穂神社・神楽殿に「夜神楽」を見に行きまし

## 株式会社イコー建設

一級建築士事務所

代表取締役 佐藤 一廣 (69期)

〒165-0033東京都中野区若宮1-28-1 野方会館2F  
電話: 03 (3223) 0168(代) FAX: 03 (3223) 0658  
mail: k-sato@f-rn.co.jp

## よいよい会 (昭和41年卒業 第68期)

毎年1月と6月に例会をやっています。

1月: 第三土曜日

6月: 第一 or 第二週

お問い合わせ

木戸正文: mkidodes@docomo.ne.jp

大河原綾子: pharmacist-ayako@docomo.ne.jp

白崎淳一郎、及能誠一



た。神楽は古くから宮廷で行われていたものでしたが、豊作（漁）を祈願し感謝する集落の祭祀行事として、高千穂の各村で演じられる今の形になったそうです。



神楽 手力雄（たちからお）の舞

### ● 3日目 阿蘇から湯布院へ

3日目は、宮崎県から熊本県（阿蘇）を抜け大分県（湯布院）へ、という行程です。阿蘇で乗る予定のロープウェイに濃霧で乗れず、由布院へ直行。早速、湯布院の目抜き通り「湯の坪街道」を散策。狭い道に若い観光客がびっしり。I君曰く、「軽井沢みたいだなー」。

今日は最後の夜。宴会のあと、幹事部屋に全員集まり、飲み残した酒を全部空けながら、高校時代の話に花が咲きました。中でも面白かったのは高校時代、硬派代表

の山岳部だったK君の茶道部批判。卒業アルバムに、女性中心のはずの茶道部に、男が写っている。しかも、和菓子を食べながらチャラチャラした格好で……。こんな部活が許されるか……。

### ● 4日目 ついにお別れ

楽しい時は、あっという間に終わって、今日はいよいよお別れ。これから仕事に向かう人、更に旅行を続ける人、皆さん、次の旅行で再会することを約して、三々五々、各地に分かれて行きました。

皆さんお疲れ様でした、K君、お世話になりました。

（注）「あくがれ」は「憧れ」の古い用語



## 第68期 よいよい会 木戸正文

いる、工場夜景（川崎工場群、五大工場夜景の一つ）をバスツアーを利用して巡った。

毎年2回（1月と6月）首都圏

在住者を中心として同期会を開催している。1月例会は鎌倉の田中

（笹森）恵子さんの行きつけのお店、小町通りの「レグリーズかま

くら」にて開催。黒木シェフによる鎌倉野菜、フォアグラ、鹿肉等

々の食材を使ったフレンチを堪能。おいしいお料理とワインで「鎌倉

グルメ」を楽しんだ。

6月例会は土曜半日を使い「防災体験（池袋防災館）と夜景鑑賞

（川崎工場群）」を二部構成で実施した。第一部は噴火や地震の発生が言われる中で企画してみた。

防災館では「東日本大震災、何が起こったか」のビデオ上映後、

各コーナーで消火器の使用法、火災の際、最も危険な煙からいかに

脱出するか、また「ぐらつときたら、まず身の安全」震度7の揺れ

を体験した。

今回の防災館では若い人たちの災害に対する関心の高さがうかが

われ、子供連れの若いパパ・ママ達が沢山（20から30人）訪れていたことが印象深かった。

なお、防災館は池袋、本所、立川にも施設があり、いずれも入館

料は無料なのでお出かけされてはいいかと思う。

第二部は秘かなブームとなって

夕方バスターミナルを出発。川崎コリアンタウン「西の屋」で焼肉を楽しんだ後、川崎マリエン展

望台、千鳥町エリア、東扇島エリア、扇島・浮島エリアの各工場群を巡った。中でも車高の高いバス

からでなければ観られないという首都高川崎線東扇島インターから

殿町インター間の工場群夜景と右側に広がる羽田空港滑走路の灯の

きらめきが素晴らしく、一番の見どころであった。函館の夜景とは

一味違った景観を楽しむことができた。お台場からレインボーブリ

ッジを経て東京駅に戻り解散とした。

今回は来年1月に例会を開催、今回都合のつかなかった方、今回は非ご出席いただきたくよろしく

お願いいたします。

なお案内はメールでお知らせしておりますので木戸宛お問い合わせいただければと思います。

(icb10806@nifty.com)

追記

昨春秋、タイのチェンマイに移住した奥野友行君から当日電話連絡があった。「家族とも元気にしている。ぜひタイに遊びに来い」とのことです。

## 第71期東京地区同期会

### 紙面への広告募集!!

「東京白楊だより」第37号・2014年8月発行予定

お問い合わせ・申し込みは [kanchu-tokyo@r6.dion.ne.jp](mailto:kanchu-tokyo@r6.dion.ne.jp)

一級建築士事務所  
沖崎建築設計事務所 沖崎 剛 第69期  
〒182-0024 東京都調布市布田1-26-12-319  
TEL: 042-488-3985 FAX: 042-488-3986  
e-mail: okizaki.takeshi@nifty.com  
<http://homepage3.nifty.com/okiz/>



## 火ばしら会 東京支部

〈昭和42年卒業・69期〉



第71期

加納元雄

スカイツリーは凄い!!

〈凄い!! ―其の一―〉

昨年の同期会で、今年は東京スカイツリーに上つてから、若杉継道君（10組）の地元の葛飾柴又で大会を開くことを約束した。

スカイツリーの予約状況など全く分からず、早めに準備を始めなければと思っていたにもかかわらず、仲間につつつかれてようやく重い腰を上げたのが開催予定日から2ヶ月を切った4月の下旬。まずはネットのホームページから予約を試みることにする。しかし驚いたことに、ネットでの予約申込の仕組みはなく、申し込み用紙が貼り付いているだけで、それをプリントアウトしてFAXか電話で申し込みなさい、結果は後日連絡するが、希望の時間とは異なるかもしれない、というもので、こんなでは限られた日限の中でとても計画がまとまらない。今どきこんなやり方でよく商売が出来ると思つたが、そこが首都東京をはるかに見下ろすスカイツリーの凄さなのだろう。

ホームページをよく見ると、東武トラベルが東京スカイツリーの「唯一のオフィシャルトラベルエージェンシー」だそうで、ここに

行けば何とかなるかもしれない、横浜の支店に行つてみた。幸い希望の6月15日に空気があったのだが、最終時間の午後8時から。陽のあるうちにスカイツリーから都内を眺め、夕方ゆつくり懇親会をやりたいかつたのだが、日程を再検討するよりはマシと、予約することにし、「旅行契約書」やら、ものものしい書類に判を押して帰った。

〈凄い!! ―其の二―〉

案内は、苦し紛れに「函館の夜景と東京の夜景、どっちがきれいか確かめてみよう」と見出しを打つて、両方の夜景の写真を並べてみる。これでどれだけの同期生が興味を持つてくれるか、甚だ心許無い。

実は、スカイツリーの団体は25名からなので25名で申し込んだのだが、わが同期会の出席者はここ数年10人台が多い。昨年は案内を出した後入院したので、病室での暇に任せてパソコンで出席を促すメールを出しまくつたのだが、それでもようやく20名である。申込みの初めから、「25人を切つたらどうなりますか？」などと質問する客に、旅行会社の担当者は怪訝な思いをしたことであらう。

案内を出した当初は、常連の出席の連絡ばかりで、それも数日で来尽くす。そろそろ「出席促進メ

ール」を出そうかと取り組み始めた頃、約10年ぶりの出席の佐藤（男谷）洋子さん（2組）や佐野（松岡）くみ子さん（1組）、函館からは最近仕事で上京の機会が多いという利波英樹君（9組）や岩手から初出席の安彦敏郎君（9組）等々多くの出席の連絡があり、結局集まつたのは26名。これだけ集まつたのは何時以来か、思い出せないほどである。

聞けば、「スカイツリーに一度は上つておかなくては」と言う人が多い。やはりスカイツリーの威力は凄いのである。おかげで、何年ぶりかあるいは何十年ぶりの再会に、柴又の江戸時代から続く鰻屋の二階での懇親会も大いに盛り上がった。



〈そしてスカイツリーの夜景は…?!〉

体調が悪い中、それでも柴又の駅まで見送りに来てくれた若杉君との別れを惜しんだ後、25名ぴつたりの一行はスカイツリーへと向かった。土曜の夜ということもあって入出は多く、展望台のついでで流れ解散とした。

で、スカイツリーからの夜景であるが、心配された台風の影響もなく、視界は実に良好であった。函館の貴婦人の姿を思わせる絶景とは異なる、360度に限りなく広がる大パノラマは、どっちがきれいか比べようがない、異質の光景であった。いつか機会を作つて、長年通勤したオフィス街はどのように見えるか、通いつめた飲み屋街はどうか、昼間の景色も見届けなければならぬ。

それにしても、同期会に大勢の人を集めるには、やはり企画が重要なようである。来年の大会をどうするか、そしてその先は…?。家庭や仕事が一段落して、これからは昔の仲間のために時間を割ける人も増えそうである。そんな人たちの知恵と時間を少しずつ集めて、多くの人が集う同期会を、再構築したいものである。



「変わったね」と「変わらないね」が交差する・・・

72期（S45年卒）東京同期会「東京さつき会」は毎年 5月第3土曜日に開催いたします。久しぶりの参加者大歓迎!

来年は・・・2014年5月17日（土）17時より。

会場は協議中……………

（広告協賛）新宿御苑前 渡部総合法律事務所 電話03-3355-5415（代）72期東京幹事





## 第72期さつき会 古旗邦夫

わたくしは、晴れて幹事に初入閣いたしました古旗と申します。中部高校時代は、陸上競技で合宿や遠征等で、あまり学校に顔を出さないことが多かったため、皆に愛の人走っていた人だよね？と言われています。あれから45年以上の月日が流れ、いいおじさんとい

おばさんになって、チャンづけクンづけで呼び合うのが嬉しい年代に達しました。さて、5月18日アルカディア市ヶ谷に集まった同志たちは46名(男31・女15)により、どんな騒ぎが始まりました。さつき会とは、還暦のお祝いに盛大な会を浅草にて開催した際、以降毎年5月の第3土曜日をさつき会の日としたもので、今回は第2回目の集まりになります。毎回いろいろなイベントを催しています。が、今回は函館と中部高校に因んだ【最後の一人になるまでクイズ選手権】をメインとし、ハチャメチャに騒いだわけでありませう。校歌問題で始まり、校長先生クイズ、担任の先生にまつわるクイズなど、次々と繰り出される問題に会場は我を忘れて盛り上がりました。中でも大先輩である二上先生と大山先生の将棋の問題は悪戦苦闘でした。さらに自由市場と中島廉売の比較や、五島軒対遺愛高校の建造

物比較など多種多様な難問に、皆頭を悩ませました。が優勝者の弁によれば、解ったかどうかより運が良かったかどうかが鍵であったそう。

また会場には、30年以上前からの同期会写真展【あのころ君は若かった展】を開催、その移り変わりの激しさにびっくりしたわけがあります。この写真は一次会終了時にお土産として参加者の懐に収まりました。またあるとき誰かが1年生と2年生の組み合わせ【シヤツフル】をしてみようと言いつたのがきっかけで、1年生から3年生までのクラスごとの組み合わせを再現し記念撮影の時間をとりましたが、これがまた面白くて、高校時代はいろんなことがあったのだと思いついて大笑いでした。二次会は恒例となったスポーツバブルUBを会場として、また新たな参加者に加え、和やかな自由時間を過ごしました。一次会の余韻が残ったせいで、皆別れるのがつらくなったというのが正直な気持ちです。こんな素晴らしい仲間がいるなんて素敵なことですよ。最後に、札幌から駆け付けたメンバーをはじめ、神戸など遠方から来られた4人の方々にねぎらい、また準備段階でいろいろ大変だった幹事諸氏に感謝し、さつき会の方、最後までお付き合いください

り、ありがとうございました。



## 第79期七草会 小林(小林)聖子

## 函館ツアー2012

79期は、平成24年10月6日から3連休に、東京在住組がツアーを独自に考え、函館在住の同期とともに企画し、2泊3日の旅を開催しました。

1日目は、東京組約10名が新幹線と海峡線を使って函館へ向かい、札幌、函館在住組と合流して、日本一朝食がおいしいと言われる

「ラビスタベイ函館」で同期会を行いました。

懐かしい顔、面影がある顔、まったく顔(笑)、35年ぶりに会う顔、名札を見て、びっくりしたり、誰かということがわかり、抱き合って喜ぶ顔々々。楽しいひと時はあつという間に過ぎ、話が尽きずほぼ全員が二次会へ。さらに三次会、四次会にまで発展した次第です。

そして2日目は、このツアーのメインイベントでもある函館山登山です。総勢18名が集まり、二日酔いの多数いる中、登山開始。はじめは全員一緒に上る予定が、なんと3班にも別れてしまい、迷って、頂上にたどり着くまでかなりの時間をかけてしまった班もありましたが、高校時代の文化祭後の登山を彷彿とさせる、良い思い出になりました。

お昼は、末広町にあるウイニングホテルの7階で、物理の加藤正之先生(第44期)とお食事会です。87歳と7ヶ月(先生が詳しく教えてくださいました)になられたご高齢の先生、一人でいらつしやると言うことでしたが、なんとなんと、矍鑠たるもの。足取りも速く、はつらつと登場なさいました。半そでの目も覚めるようなブルーのポロシャツを着て、昔とまったく変わらない歩き方でした。12時半から14時くらいまで、先生

## 第76期東京地区同期会

(昭和49年卒業)

「あす76会」ゴルフコンペ(1月、4月、7月、10月)  
同期の皆さまのご参加をお待ちしています。

## 七草会

第79期 1977年卒業

HPにて情報発信中

<http://chubu79.digi2.jp/>

四季を彩る至福の空間へ



ウッドルーフオートキャンプ場施設群

株式会社 計画機構一級建築士事務所  
■建築設計・コンサルティング

alpha Conservatories Ltd.  
■ガーデンコンサルティング ■英国コンサバトリー設計・施工

株式会社 アルファコンサバトリーズ  
創業1874年 AMDEGAコンサバトリー輸入総代理店、  
B.D.G.コンサバトリー輸入代理店、建築設計・ガーデン設計

代表取締役 山田 朗 (73期)

180-0022 東京都武蔵野市境1-22-9 ツインブレックスSA  
TEL.(0422)55-7940(代表) FAX.(0422)55-7960  
<http://alpha-it.co.jp/> E-mail: info@alpha-it.co.jp

第79期七章会 山内(西村)優子

36年ぶりの再会

1977年に高校卒業後は大学、就職で東京での生活、結婚後は福



と歓談しながらの食事は登山をしたおかげで、おいしく楽しく食べることができました。

その後は居酒屋での宴会、さらに締めは同級生の実家のお店「杉の子」と宴会は続き、翌日、東京組はまた電車で帰京という旅でした。この楽しさに味を占めた幹事は今年、さらに9月の連休に札幌ツアーを企画しております。

岡、東京、香港、で生活し12年前に帰国しましたが、4人の子育てもあり、あわただしく年月がながれていました。実家が市外の私は、帰省しても地元中学の同級生と会うことはあっても、函館市内にいる高校の同級生と会う機会は皆無に等しかったのです。そんな昨年、主人が自分の大学の同窓会で、偶然にも私の同級生のSさん(旧姓)と出会いました。Sさんから函中79期同期会の関東支部があるという話を聞いてきてくれたので、私はネットで検索、そしてHPに辿り着いたのです！なんと私は『行方不明者リスト』に…。焦った私は早速幹事さんに連絡を取り、皆さんとの交流が今年1月末からスタートしました。

同期会のHPでは懐かしい顔を見ることができ、こうなると皆さんに会いたい気持ちがあつた。きくなつていきます。私の同期会への初参加は今年4月のお花見。でも今年は桜が早かったため花は終わってしまった、しかもあの爆弾低気圧の日。幹事さんは決行を選択、参加予定者もキャンセルなく全員参加。待ち合わせ場所へはドキドキでした。何しろ36年ぶり。みんなの顔がわかるかしら、みんなは私の事がわかるかしら？…と。でも心配は無用でした。外観はもちろん変わっているのですが、中身はみなさんかわっていないものですね。

『花のない花見』は飲み放題のもんじゃで盛り上がり、まだ小雨の中二次会へ。天気が少し怪しくなってきた中を三次会のカラオケへ。いつもの事のようにでしたがカラオケは大盛り上がりで帰りの時間を忘れてしまいうくらいでした。帰路は大雨の中！終電逃した方もいたようでしたが、何とか帰れた私は電車が減速運転で大幅に遅れたの帰宅となりました。バタバタと帰ったため、翌日はフェイスペインク等で皆さん無事を確認しあつていました。大荒れ天気の中の初参加、忘れられない思い出となりそうです。

4月末のジンギスカンで2度目の参加をしたのですが、この2度の参加で驚いたことは、みんながとても仲がいいこと、そして高校時代には話をしたことのない男子とおしゃべりが盛り上がることです。こんなに話しやすい人なんだ、と36年ぶりに認識した次第です。

79期はHPのほかにもFACEBOOKでの交流もあります。FACEBOOKはこれまで私は避けていた部門ではあつたのですがみなさんとの連絡を密にとれる、と勧められ始めました。自分の世界が一つ広げられたようでもあり、楽しく交流しています。FACEBOOKは関東の同期会だけではなく、北海道や海外含め、その他の地域に住んでいる方々をも身近に感じることができるところがうれしいですね。



79期同期会では、9月の札幌ツアーや今後もいろいろな計画があるようなので、どんな企画がでてくるのか楽しみです。これからは、高校時代よりも広範囲の函中同期の皆さんと交流を持てることをうれしく思っています。HP、FBを立ち上げくださった幹事の方には、感謝の気持ちでいっぱいです。そして主人とSさんが出会った偶然にも感謝です。

待ってます！83期の皆さん

おじさん、おばさんになっても、青春の思い出は変わらず・・・

於：10月12日(土) 13:00～  
グランドアーク半蔵門 (国立劇場の隣です)





## ポプラ会ゴルフコンペご報告

ポプラ会ゴルフコンペは、白楊が丘同窓会の会員のなかでゴルフをする方はどなたでも参加できるものです。

2012年の6月26日（火）に開催されました第33回ゴルフコンペは、前回の会報で報告いたしました。

皆さんから引き続き年内にもう一度開催してほしいとのご要望が多かったことを受け、第34回ゴルフコンペを以下の要領で開催いたしました。

- ・日時：2012年12月11日（火） 浦和ゴルフ倶楽部
- ・イン・アウト同時スタート合計6組

参加者は21名で、今回も盛況でした。成績は次のとおりでした。



優勝  
72期 鈴木等氏  
2位  
72期 佐藤禎子氏  
3位  
60期 水江彰一氏

このように皆様のご協力によって、昨年は久しぶりに年に2回開催できました。毎回、少しずつではありますが、若手の皆さんのご参加を得ております。同窓会のコンペとしては、会員の皆様の居住エリアも広く、また、日程の選択も難しい問題ではありますが、大規模なイベントとしてではなく、この程度の人数の会を定期的に開催することによって、それぞれ、ご都合のよろしい機会に、同期の方々をお誘いあわせの上、お気軽にご参加いただくような場を提供していきます。今回は、仕事も現役の皆さんにフォーカスをあて、真夏の土日に開催する計画を進めております。この会報が発行される頃には無事開催できていると思います。

また、例年のような平日の会も秋に計画しております。いずれも、結果は、来年の会報でご紹介いたします。

ゴルフをされる皆さんはまだまだ大勢おられるものと思います。参加ご希望の皆さまは、ぜひ、同窓会事務局までご連絡ください！

## 函館巴会ゴルフコンペご報告

函館巴会ゴルフコンペは、西高、東高、そして中部高3校のゴルフ対抗戦です。

毎年1回開催されており、今回は第17回、東校の幹事で、4月9日、茨城県の「江戸崎カントリークラブ東コース」で行われました。3校総勢8組31名、我が校からは10名の参加となりました。ルールは、新ベリア方式で、各校、女性1名を含む上位6名の順位番号のトータルポイントで競い合います。

成績は、団体戦で、優勝・中部高、2位・西高、3位・東高という結果になりました。昨年は、ハンディキャップに恵まれず、3位に甘んじましたが、雪辱を果たすことができました。

個人成績でも、72期の佐藤禎子さんが男女全体で優勝したことをはじめ、10位以内に4名の方が入る大健闘でした。

次回は、西高の幹事で来年の春に開催予定です。腕に自信のある方も、また、上位の成績は常連の皆さんにおまかせして他校との交流第一でご参加される方も次回をお楽しみに。多くの皆さまのご参加を歓迎いたします！

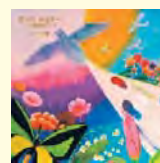


白川 正広（76期） 記

## 活動報告

3・11復興応援アルバム  
「なとわ あなたへ」発売中  
うゝみ（98期）山形夕佳

うゝみは、2011年3月11日の、東日本大震災直後の4月18日より、東北各地の被災地入りを、今日までに既に20回以上も繰り返し、他にも、函館や高知をはじめ、各地で復興支援の活動を行っています。詳しくは左記、オフィシャルサイトをご覧ください。  
<http://www.umi-yuka.com/>



## 殺陣！楽しかった舞台公演

朝緑高太（99期）

子供の頃、友人と「えいっ！やー！カーン」なんて言いながらチャンバラをしたことのあるかたは多いのではないのでしょうか？私は、いまだにそのチャンバラを続けています。それも、舞台で。

7月20日、21日の2日間、日本橋劇場で第8回目の殺陣クラブ公演がありました。私は、今回が3回目の出演です。公演のタイトルは、上州祭り囃子俺たちのBLEUES。私は、英治という粋な博打打ちの役でした。

稽古では、演出の方のイメージに合う役をなかなか作り上げられず、悩み続けました。それでも役作りを諦めずに稽古を重ねて行く中で、「これだ！」と思える瞬間が訪れ、舞台では英治を思う存分楽しむことができました。公演までの3ヶ月間、全ての週末は稽古に当てられ、汗だくになりながら四苦八苦するのですが、緞帳が降りたあとの快感がたまらず好きでやめられません。2年後の舞台が楽しみです。

\*殺陣クラブは、遠藤周作さんが立ち上げた素人劇団「樹座」の中から生まれた、殺陣入りのお芝居を2年に1度開催している素人劇団です。普段は、月に2回、土曜日の18時から稽古をしています。ご興味ありましたら、同窓会のHPからお問い合わせください。一緒に殺陣を楽しみましょう！！



# 会員短信

平成24年8月以降の会費の振替票と返信はがきのメッセージから

●風間 憲吉 (S 10年卒37期)

高齢(95歳)で最近脊柱管狭窄症で入院。現在在宅介護とリハビリ中なので、欠席させて頂きます。会員の皆様と同窓会の益々のご発展を祈ります。

●前田 徳尚 (S 12年卒39期)

高齢のため出席できません。御盛會を祈ります。

●外山 源一郎 (S 13年卒40期)

ご案内有難う。お返事を出し忘れて失礼しました。さぞご盛會だったことでしょう。皆さんのご活躍を希っています。

●太刀川 良三 (S 13年卒40期)

御盛會を祈る。

●今井 清 (S 13年卒40期)

東京白楊だより第35号ありがとうございました。会員短信で同期2名の懐かしい便りがあり、又、物故者の欄に2名の名前を拝見。高齢を感じております。

●佐藤 文一 (S 14年卒41期)

足腰が弱くなつて他の人に迷惑をかけるように欠席します。函館大火の年の入学であり今でも思い出します。

●毛利 啓次 (S 14年卒41期)

年重ね90歳になりました。同期生も少なく淋しいかぎりです。10年前、孫と故郷函館に参りました。すっかり観光の街となり感激しました。住んでいた「東浜町」の町名がなくなり淋しくもありました。残念ながらヒザを痛めてますので欠席します。

●日野 文麿 (S 17年卒44期)

足腰が弱つてきており、スポーツクラブに通い水中歩行し泳いだりしておりますが、遠い処には無理をしないように気を付けております。老年になると昔を懐かしむ気持ちが強くなりますが、年齢には勝てません。盛會を祈っております。

●渡辺 鉦一 (S 17年卒44期)

ここ数年、年に1回函館へ行っております。のんびりして年寄りにはいい町ですが、今後が心配です。

●渡辺 保二 (S 19年卒46期)

米寿の祝を兼ね、函中卒業70周年の記念の集まりを五島軒本店で行います。平成26年春予定。

●渡辺 丞二 (S 20年卒48期)

体調不良のため欠席します。御盛會を祈ります。

●下河原 修 (S 21・22年卒49・50期)

ご案内有難うございます。御盛會を祈って居ります。

●竹部 瑩 (S 21・22年卒49・50期)

会の盛會を願います。

●伊藤 辰男 (22年卒50期)

ご盛會を祈ります。何とか元気でおります。

●長島 康 (S 25年卒52期)

今年も暑い夏でしたね。年をとるにつけてきます。日本の行く末も不安いっぱいで困ったものです。物事を冷静に見、判断してゆくに必要がありますね。将来をじっくりみつめて考えてゆきましょう。

●漆崎 雄一 (S 26年卒53期)

呉々も皆様によろしくお伝え下さい。今年も7月に7年続けて訪函

して来ました。母校校庭ものぞきましたが：

●佐々木孝子 (S 26年卒53期)

毎年お知らせをいただき有難うございます。無事80歳を迎えました。が、元気にコースに勤しんでおります。

●進藤 照子 (S 26年卒53期)

病気のため欠席させていただきます。皆様にどうぞよろしくお伝えください。幹事の皆様、大変御苦勞様です。

●馬越 道子 (S 26年卒53期)

御連絡ありがとうございます。元気でおります。

●伊関ユキ子 (S 26年卒53期)

いつも御案内ありがとうございます。目下老々介護の身にて、外出も儘ならず失礼させていただきます。ご盛會をお祈りしております。

●小島 一弘 (S 26年卒53期)

「東京白楊だより」の送付等有難うございます。表紙の函館夜景の写真、なつかしく拝見しました。先日渋谷のNHKへ向かう坂道のビルの大きなガラス(約5×3m位)にも同じアングルの写真があることに気づきました。夜景は美観ですね。

●野呂 英司 (S 26年卒53期)

8/16に胃癌の手術をしました。9/5に退院しましたが、今は自宅療養中です。皆様のご健康をお祈りします。

●入江 宏子 (S 27年卒54期)

これにて退会させて頂きます。長い間お世話下さいまして有難う存じました。皆様のご健康を祈り、この会が発展していくことをお祈り致しております。

●及能 正男 (S 27年卒54期)

旧三井銀行30年勤務(うち11年NY ドイツ在勤)その後17年福岡

西南学院大学(院)で国際銀行論担当。単著13冊(昭21年4月刊立函中、最後の入学)ご盛會を祈ります。

●納代 鉄也 (S 21年入54期)

幹事の皆様、御苦勞さまで。手術後の体調不良の為、残念乍ら出席できません。皆様によりしくお伝え下さい。

●河村 和子 (S 28年卒55期)

7/28左肩脱臼骨折、入院手術3週間病院暮らし、そして退院。3か月たつのに、左手は力が入らず障害者くらしです。左手で結構大事とつくづく感じています。

●高木 幸子 (S 28年卒55期)

29、30日と予定が入っていました。いつもお世話になっております。一度は参加させて頂きたいと願っております。

●大宮 瑛子 (S 28年卒55期)

体調不良につき失礼致します。

●大澤 晴子 (S 28年卒55期)

夏がくるのと北海道に行きたくなります。御連絡に感謝。

●森 康美 (S 28年卒55期)

病気のため外出できません。ご盛會をお祈りします。

●阿部 健 (S 28年卒55期)

病気のため欠席いたします。

●浅岡 勤 (S 29年卒56期)

56期福縁会は77歳を迎え、森町グリーンピア大沼で「喜寿の集い」を開き、函館・東京・札幌の各部が63人集合。一泊して大沼遠足から五稜郭の奉行所見学。次は卒業60周年or傘寿の集いと皆さん白寿まで大丈夫。

●加藤 正秋 (S 29年卒56期)

函館・大沼で同期の喜寿の会を行います。東京から30%を占める20名のメンバーが参加した。来年は卒業60年。その次の年は傘寿の祝いの

イベントが控えている。元気で参加を期待している。

●内藤 博 (S 29年卒56期)

当日、函館です。

●塚本 弘子 (S 29年卒56期)

82期の皆さん、会の成功のためがんばっているのが伝わってきます。3年間の学生生活が60年近くたつても母校とつながっているのが嬉しい事です。介護のため出席出来ないのが残念です。会の成功をお祈り致しております。

●津田 恭一 (S 29年卒56期)

同期会は減びても同窓会は不滅!! 元氣なかがり参加します。

●根上 義昭 (S 29年卒56期)

脳梗塞による障害のため手足が不自由になりましたので、外出は極力しないようにしています。

●南 卓夫 (S 29年卒56期)

自然環境保全関連のボランティアで体を動かして元氣にしております。

いつも案内ありがとうございます。御盛會をお祈り致します。

●澤田 経子 (S 29年卒56期)

欠席で申訳ございません。役員の皆様の活躍に感謝し盛會を祈ります。

●藤本 一郎 (S 29年卒56期)

昨年度、私事と重なり欠席しましたが、まだ元氣なので今年は参加します。

●吉田 精吾 (S 30年卒57期)

今年はいよいよ「喜寿」を迎えることになった。これを記念して9月13日に「ラビスタ函館ベイ」にて同期会を開催する。全国規模での同窓会はこれで最後とするようだ。一方でこの1年余で6人もの同期生を見送ることになったのは淋しい限り。1人でも多くの参加を楽しみにしている。



●伊藤 光司 (S 32 年卒 59 期)

第35号 白楊だよりがありがとうございます。足腰調子悪く親睦会には出席できませんが、東京支部の活動に際し、役員、幹事、皆さんの御苦労に感謝しております。

●岩淵 安隆 (S 33 年卒 60 期)

同期会世話役中心の一人、紅谷弘一君が逝きました。永い間、本当にお世話になりました。「秋晴れと逝ゆ」きし友の骨拾う(合掌)

●佐藤 大 (S 33 年卒 60 期)

何時も東京白楊だよりを拝見し乍ら、50数年前に郷土で過ごした思い出を懐かしんでおります。まさに「故郷は遠くにあいて思うもの」ですね！幹事役の皆さん御苦労様です。盛会を祈念しております。

●羽田 信英 (S 33 年卒 60 期)

函館の発展を祈ります。

●宮川 満子 (S 33 年卒 60 期)

いつも大変お世話になります。特別厳しく感じた今年の夏も、同窓会の便りを聞く季節になりましたね。今年も迎えられることに感謝しております。

●石月 言成 (S 34 年卒 61 期)

現在は地域の卓球クラブ(男女)、シルバー男の談話室、シニア男の料理教室の企画と参加を楽しんでおります。意欲と体力のある内との想いです。

●伊東 紀保 (S 34 年卒 61 期)

「東京白楊だより」をいつもありがとうございます。

●村本 光彦 (S 34 年卒 61 期)

会報内容楽しく拝見しました。

●鈴木 祥介 (S 36 年卒 63 期)

仙台支部の会員でもありますので今年度で退会したいと思います。長い間有難うございました。

●石崎 篤子 (S 36 年卒 63 期)

同期の石井直樹さん、会長就任ですね。函館の同級生の近況も聞けるのを楽しみにしております。

●上原 勝雄 (S 39 年卒 66 期)

いつも会報をありがとうございます。今回、表紙の写真にうつとります。

●渡辺 正勝 (S 39 年卒 66 期)

「東京白楊だより」Vol.35のカラー表紙(火花入り夜景 良かったです。昔見ました山下清画伯の作品を思い出しました。

●中川 真 (S 40 年卒 67 期)

今回の36回東京支部親睦大会には、先輩である渡辺憲司先生のご講演を楽しみにして出席させていただきます。幹事役の82期生のみなさんありがとうございます。

以前、東京白楊だよりの「同窓生の著書」コーナーで知った渡辺先輩の著書「時に海を見よ」(双葉社・1200円+税)を昨年読ませていただきました。これから

の日本を生きたる君に贈ると題した18のテーマ別に語られたメッセー

ジは、若者達だけではなく我々世代にも語りかけてくれ、どのメッ

セージもすばらしく、感動いたしました。ぜひ、同窓生の皆様にも

読んでいただきたく思います。

●木村 修司 (S 41 年卒 68 期)

いつも会報をいただいて楽しく拝読しています。68期の幹事さんには、ご案内のたびに感謝しています。

●重松 健二 (S 41 年卒 68 期)

卒業期の数字が若くなるにつれて段々人数が減っていくのを見て年月を感じます。

●田中 恵子 (S 41 年卒 68 期)

昨年、実家の母が亡くなり、年3、4回の帰郷が今年はまだ1回。両親が居ないと足が遠のくもので

すね。今年の同窓会のテーマ「函館再発見！」につられて、卒業以来2回目の東京支部同窓会に参加させて頂きます。どうぞよろしく

●西野 翠 (S 41 年卒 68 期)

同窓の皆様のご健勝をお祈りしています。自然エネルギーでの安全な社会を孫たちに残したいとの願いを強くする昨今です。

●岩切 省三 (S 42 年卒 69 期)

お役目に感謝申し上げます。毎回楽しく拝読させていただいてます。いつもお世話様です。この時期、

●金子 茂子 (S 42 年卒 69 期)

会報が届くのを楽しみにしております。残暑の中、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

●川村 哲雄 (S 44 年卒 71 期)

平成24年度の同期会を6月16日(土)に今年も昨年と同じ、横浜みなとみらい三菱重工横浜ビル33F「スカイラウンジ」で午後4時より開催しました。午後6時45分からの三菱重工ビルの斜め向かいの「ラ

ンドマークプラザ」ドックヤード

ガーデンB1Fの「プレイシヨパ

ンみなとみらい店」での2次会には我々71期の3年8組の担任だつ

た水江彰一先生(60期)に今年も参加

戴き、1次会・2次会を総勢20名

で実施しました。

●谷口 雅典 (S 45 年卒 72 期)

童謡「村の船頭さん」より歳上になりました。

●古旗 邦夫 (S 45 年卒 72 期)

60歳過ぎたので、同窓会出席することになりました。会報は良く書かれていました。

●高田 恵子 (S 46 年卒 73 期)

8月で定年ですが、幸い継続雇用が決まり、当分仕事を続けることになりました。とはいえ、まだ

体力がある60代のあり方を模索

しているところです。とりあえず心身の健康を保ちつつ、人としての成長を求め続けたいと考えている。今日この頃です。

●松村 敦子 (S 48 年卒 75 期)

残念ながら仕事の都合で出席できません。ご盛会をお祈り申し上げます。幹事さん ありがとうございます。

●小原 泰次 (S 48 年卒 75 期)

幹事お疲れ様です。残念ですが、所用の為出席できませんので、皆様へ宜しくお伝え下さい。

●平田 千香子 (S 52 年卒 79 期)

このような会があることも知らず、30年以上経過してしまいました。これからは函館中部の思い出も大切にしたいと思っています。

●常陸 千尋 (S 54 年卒 81 期)

会報とても楽しく拝見させていただきました。

●森野 光代 (S 54 年卒 81 期)

ご采配 感謝いたします。(石垣なのに東京支部・)台風16号の直前の石垣市は、白いもくもく雲に負けぬほど、青空と金色の陽に満ちています。

●渡辺由美子 (S 54 年卒 81 期)

最近、同期の友人と連絡がとれるようになり、東京支部について知りました。登録をお願いします。

●佐藤 元紀 (S 55 年卒 82 期)

第36回親睦大会は、我々82期が幹事です。同期の皆さんとお会いできること、楽しみです。

●清水 真 (S 55 年卒 82 期)

本務校の明大法科大学院、非常勤先の慶大法学部で法曹養成教育に従事し、財務省・司法研修所・警察大学校との協力事業の責任者となっています。

●及川 信幸 (S 56 年卒 83 期)

今回初めて同窓会に出席します。

50歳でリスタートです。

●末長 健 (S 60 年卒 87 期)

昨年度合がつかかなかつたので、今年はしっかり参加致します！夏に震災被災地をボランティアしてきました。復興はまだ道半ばでしたが、日本人としてこれからも支えていかねばと思いました。

●三浦 基子 (H 8 年卒 108 期)

現在、千葉大学大学院専門法務研究科に在籍しております。来年5月の司法試験に向け勉強中です。

●長尾麻里菜 (H 19 年卒 109 期)

ご多忙の中のお誘い下さり、誠にありがとうございます。仕事の予定がつかないためおそらく欠席させていただきます。すみません。

●本間 真平 (H 20 年卒 110 期)

残念ながら都合がつかず欠席させていただきます。また来年皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

●田中 美帆 (H 20 年卒 110 期)

会の益々のご発展をお祈りいたします。

●澤村 立 (H 20 年卒 110 期)

いつもお世話になっております。例年10月末の開催であったため、本年度も秋の早慶野球戦とあわせて参加させていただこうかと思っております。9月は繁忙期になりますので今回は欠席させていただきます。申し訳ありません。

●古川 成由 (H 21 年卒 111 期)

昨年は用事があり参加できませんでしたが、今年は親睦大会を楽しみに出席とさせていただきます。



平成24年度収支実績および  
平成25年度予算(単位:円)

|         | 24年度実績  | 25年度予算    |
|---------|---------|-----------|
| 収入      | 年会費収入   | 1,791,000 |
|         | 大会費収入   | 1,472,000 |
|         | 寄付金収入   | 262,000   |
|         | 会報広告収入  | 115,000   |
|         | その他     | 168       |
| 合 計     |         | 3,640,168 |
| 支出      | 大会関連費用  | 1,667,426 |
|         | 会報関連費用  | 824,850   |
|         | 諸会議費    | 272,625   |
|         | 通信運搬費   | 191,887   |
|         | 本部派遣費   | 212,850   |
|         | その他の運営費 | 386,771   |
|         | 予備費     | 20,000    |
| 合 計     |         | 3,556,409 |
| 差引収支残   |         | 83,759    |
| 次期繰越剰余金 |         | 5,010,297 |

日時;平成25年4月23日(火) 18:30~19:30

場所;インテリジェントロビー・ルコ

出席者 24名

安田支部長の挨拶に続き、以下の議案について審議し、全議案とも承認された。

## (1) 平成24年度事業報告

親睦大会、会報、HP、渉外活動、総務等

親睦大会は、82期の企画により65期渡辺憲司氏の講演他を実施。

213名が参加

## (2) 平成24年度収支決算報告

ついに年会費納入者が600名を割込む事態となったが、会報印刷費の大幅低減により、差引収支残は83,759円の黒字となった。

## (3) 平成25年度事業計画案

親睦大会、会報、HP、渉外活動、同好会活動等

今年度親睦大会は83期が幹事となり、「グランドアーク半蔵門」で「旧交を温め楽しい時間を!!」をテーマに企画推進中。

## (4) 平成25年度収支予算案

昨年度の実績を参考に、収入・支出額がそれぞれ昨年度予算並みの373万円の均衡予算とする。

## (5) 役員の選任及び異動の件

今年度の親睦大会終了をもって役員の任期が満了となるが、支部長・副支部長・監事については全員の重任を、理事については現理事の重任に加えて、79期樋口澄則氏、同米田考氏を新たに加える。

引続き、同会場において会費制で懇親会を実施した。

副支部長 加納元雄(71期) 記

## ご寄付御礼

昨年度は25名の方からご寄付を頂戴いたしました。ここにお名前を掲載し、御礼に代えさせていただきます。

|                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 昭10年卒37期 風間憲吉         | 昭20年卒47期 堀田善和        |
| 昭12年卒39期 前田徳尚         | 昭22年卒49期 下河原修 / 椿田政信 |
| 昭13年卒40期 今井清          | 昭25年卒52期 高野保 / 長島康   |
| 昭14年卒41期 山内正弥         | 昭26年卒53期 前浜秀信        |
| 昭16年卒43期 内海孝 / 神山茂郎   | (平成23年9月11日逝去、奥様から)  |
| 昭17年卒44期 渡辺紘一         | 昭38年卒65期 渡辺憲司(講演謝礼)  |
| 昭18年卒45期 川田陽吉 / 佐藤正一  | 昭42年卒69期 齋藤裕子        |
| 昭19年卒46期 小泉道義 / 多和田昭二 | 昭51年卒78期 島津路郎(ピアノ謝礼) |
|                       | (敬称略 アイウエオ順)         |

誠に残念なことに、年会費の納入者数が年々減少しており、当支部の財政は、未だにひ弱な状態です。本年も引き続き皆様からのご寄付を募っております。お志のある方はご協力をお願い申し上げます。

取り扱い金融機関:郵便局  
口座番号:00190-1-124291  
白楊ヶ丘同窓会東京支部  
郵便局備え付けの用紙、または会報に同封の払込票をご利用ください。

物故者 謹んでご冥福をお祈りいたします ※年会費払込票及び大会出欠葉書きにて、ご家族からお知らせがあった方です。(敬称略)

|                               |                                |                                  |                                   |                                  |                                  |                                 |                                  |                                |                                  |                                   |                                  |                                  |                                   |                                |                                 |                               |                                 |                                  |                                  |                                   |                                  |                                  |
|-------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| ◆高杉 武利(昭48年卒75期)<br>平成23年1月逝去 | ◆高木 隆(昭42年卒69期)<br>平成25年7月4日逝去 | ◆笠井 清(昭36年卒63期)<br>平成23年10月14日逝去 | ◆小熊 勝夫(昭36年卒63期)<br>平成24年11月17日逝去 | ◆紅谷 弘一(昭33年卒60期)<br>平成23年9月11日逝去 | ◆前濱 秀信(昭26年卒53期)<br>平成23年9月11日逝去 | ◆品川 孝三(昭26年卒53期)<br>平成24年1月4日逝去 | ◆國田 祐作(昭23年卒51期)<br>平成23年2月21日逝去 | ◆寺井 滋(昭21年卒49期)<br>平成23年1月1日逝去 | ◆堀合 信秀(昭18年卒45期)<br>平成25年1月10日逝去 | ◆世良田 博夫(昭18年卒45期)<br>平成25年1月10日逝去 | ◆小川原 清(昭18年卒45期)<br>平成24年7月15日逝去 | ◆井上 義一(昭18年卒45期)<br>平成24年7月15日逝去 | ◆小佐治 朝生(昭15年卒42期)<br>平成21年6月10日逝去 | ◆長戸 毅(昭14年卒41期)<br>平成21年5月8日逝去 | ◆辻 喜久男(昭14年卒41期)<br>平成21年5月8日逝去 | ◆相馬 龍三(昭14年卒41期)<br>平成21年5月逝去 | ◆伊藤 哲男(昭14年卒41期)<br>平成24年3月3日逝去 | ◆須永 静清(昭13年卒40期)<br>平成24年1月17日逝去 | ◆新庄 幸平(昭13年卒40期)<br>平成23年9月14日逝去 | ◆河村 泰平(昭12年卒39期)<br>平成24年11月19日逝去 | ◆森本 良平(昭9年卒36期)<br>平成24年11月19日逝去 | ◆岩崎 成章(昭7年卒34期)<br>平成24年11月19日逝去 |
|-------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|



# 白楊ヶ丘同窓会 東京支部 第37回親睦大会のご案内

テーマは 旧交を温め、楽しい時間を!!

2013年10月12日(土)  
13:00開演(12:30受付開始)

グランドアーク半蔵門

会費：8000円 学生は無料 (ただし年会費3,000円納入者のみ適用・当日会場での納入可)



## グランドアーク半蔵門 ご案内

〒102-0092 東京都千代田区隼町1番1号  
ご宴会・会議 03-3288-1628

### ACCESS

- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」1番出口より徒歩2分
- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」3b出口より徒歩3分  
※3b出口はエスカレーター部分が1番出口より長く、荷物がある場合に便利です(節電の為閉鎖されていましたが、11月より通行可能となりました。)
- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」駅エレベーターより徒歩7分
- ・東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩7分
- ・JR「四ツ谷駅」より徒歩15分
- ・東京駅(丸の内南口タクシー乗り場)よりタクシーにて約10分

詳しくは … <http://www.grandarc.com/>

白楊ヶ丘同窓会東京支部、今年の親睦大会は、皇居の杜を望む半蔵門の駅に近い「グランドアーク半蔵門」で行います。今年の幹事は83期(昭和56年卒)が担当、着々と準備を進めております。

83期は2年前の正月に、卒業30周年の会合を函館で開催しました。当時担任をしていた先生方にお越しいただき、80代でお慶鑠たるそのお姿に、ただひたすら感服。思えば、今現在の自分たちの年代の頃に教壇に立たれ、熱くご指導をされていたわけです。私たちもまだまだ負けてはいられませんな、と久しぶりに会った仲間と飲み交わしました。

私事ですが、突然思い立っての参加だったため、航空券・列車の切符がとれず、宿泊なしで翌日の青森発の新幹線に乗るという強行軍でした。青森駅始発の新幹線に接続するには、函館駅を夜中の3時に出る「はまなす」という夜行急行列車に乗るしかないとのこと。いまだに夜行急行が走っていることに驚きましたし、昭和にタイムスリップしたような車内の光景にも驚き!そういうえば、今や飛行機を使うのが当たり前の修学旅行(見学旅行と言っていました)、当時は「日本海」という寝台特急で、京都を目指して2班に分かれて出発、あの年は台風が来て金沢辺りで足止めされ、嵐山の見学と食事は中止になり、車内で弁当を食べたつねな…とだんだん見学旅行記を書いている雰囲気になってきましたので、本題に戻りますが、卒業後30年たって、初めて再会する仲間もあり、参加して良かった、としみじみ思いました。

今年の親睦大会のテーマは「旧交を温め、楽しい時間を!!」です。人との繋がりを大切にしていきたいと、ここ数年でますますその思いが強くなりました。

青春時代に築かれた友情が、世代を超えていつとき混じり合い、また深まっていきますよう、幹事として精一杯のお手伝いをさせていただきます。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。10月12日は、一緒に、楽しい時間を過ごしましょう!

(83期 田口 志保)

### 編集後記

印刷全体のカラー化を目指して2年目にし、全頁カラーを達成できました。紙面デザインのミライデザインさんにカラー紙面編集をお願いし、インターネットとデジタル化のお蔭で省力化、コストダウンが実現しました。より読み易くなった会員同士の交流に繋がればと思っています。オールカラーにした事がカラ(空)振りに終わらない様に今後皆様からの投稿写真を募集しています。同窓会活動や函館に纏わる写真を事務局に送ってください。(山田朗 73期)

早起きすると、なんだか得した気がするなあと、思ってから、だんだん起きる時間が早くなってきています。以前は6時ほどだったのが、今は4時半。

早く起きて何をしようかと、身支度や読書、ストレッチなど。中でも神棚のお水やお酒を替えて、心静かに祈りを捧げる瞬間が好きです。昨日のことを振り返ったり、今日何をしようかと、将来をどうしようかと、ゆっくりと考えて、いつもお世話になっている人や物に「ありがとう」と感謝します。今、フジロックのキャンペーンでこちらの編集後記を書いています。自然の中で文章を書くのもいいものです。これまた感謝感謝! (朝緑高太 99期)

今年は、全ページフルカラー印刷での発行が叶いました。写真などがはつきりしてご覧になりました。編集も楽しくなりました。送料の関係で、紙面を16ページに減らしたために、今回掲載されなかった原稿もいくつかあり、来年の37号に載せる予定です。今年の親睦大会も、たくさんの方の会員の皆さまにおいでいただき、準備をしてお待ちしております。70歳以上の年齢差があっても楽しめる、同窓会の素晴らしさを、いっしょに味わいましょう! (U)

### 東京白楊だより36号

- 発行 白楊ヶ丘同窓会東京支部
- 発行人 安田康次 (67期)
- 編集責任者 梅田やよい (69期)
- 発行日 平成25年8月24日

【東京事務所】

〒338-0012 さいたま市中央区大戸2-19-10

安田康次 方

TEL・FAX 048-852-0988